



Bour Bon



日本最初のオールトランジスタシステムによるステレオ音響の真迫感!

クリネヤ式 完全冷暖房設備

近代建築の粋!

地上1・2・3・4階

地下1・2階

デラックス

純喫茶

AM 9.00~PM 11.00

女性にも愛される

カクテルコーナー

終夜営業

PM 4.00~AM 4.00

渋谷

ブルボン

渋谷駅前・三菱銀行裏通り

TEL (461) 2450
4667

キートン将軍

ドタバタ喜劇の全盛期を飾った傑作



CAST

Johnnie Gray Buster Keaton
 Annabelle Lee Marion Mack
 Her Father Charles Smith
 Her Brother Frank Barnes
 Captain Anderson Glen Cavender
 General Thatcher Jim Farley

STAFF

Script { Busser Keaton
 Directors } { Clyde Bruckman
 Directors of { Dev. J. Jennings
 the Photography } { Bert Haines
 Music and Effects Konrad Elfers

東和提供★バスター・キートン・プロ作品
 日本語版吹き込み……益田キートン



“デート・イン・ステレオ”

純喫茶

日本コロムビア技術陣の特別設計による
 84個のスピーカーから流れるステレオ感100%の音響



国電有楽町駅前 TEL (201) 2041-3





かいせつ
映画がトーキーになる前、一九一〇年代のなかばから、二〇年代にかけてのハリウッドではスラップスティック・コメディ、いわゆる『ドタバタ喜劇』が全盛をきわめました。これらの映画は、トーキーの出現とともに、だんだんと姿を消して行きましたが、それをささえる独自の機智とギャグはカメラの機能をフルに活かしたものでして、現在、再び高く評価されています。

この映画は、チャップリン、ロイドとやらんで当時の三大喜劇王の一人といわれたバスター・キートン二六年の作品で、六二年のはじめからヨーロッパで再公開され、圧倒的な好評を博したものです。

物語の背景はアメリカの南北戦争。「將軍号」と名づけられた機関車の運転士に扮したキートンが、例の無表情を売りにしたスートン・フェースで抱腹絶倒のコメディをくりひろげます。天才的なギャグ、現在見ても驚かされるようなスケールの大きさは、キートンの、というより、アメリカのサイレント喜劇の最高傑作の一つといっても過言ではありません。

なお、この映画は、キートン喜劇の初期から監督として活躍し、その繁栄に大きな力となったクライド・ブラックマンと、キートンとの共同監督となっています。

(八巻 一時間十七分)



THE GENERAL

A BUSTER KEATON PRODUCTION



脚本 監督 バスター・キートン
 撮影 クライド・ブラックマン
 音楽 デブ・J・ジェニングス
 パート・ヘインズ
 コンラッド・エルファーズ

キャスト

ジョニー・グレイ バスター・キートン
 アナベル・リー マリオン・マック
 アナベルの父親 チャールズ・スマイス
 アナベルの兄 フランク・バーンズ
 アンダースン大尉 グレン・キャベンジャー
 サッチャー將軍 ジム・ファーリー



らせん階段をのぼって……
 憩の楽園へ
 ユニークなニューアンス・最高のムード

純喫茶 オールナイト・朝7時マデ
 新宿 歌舞伎町

スケート9月1日開場
 *スケート用品特売
 スケートお買上げの方にコーヒー券進呈
 *スキー・スケート・登山バス
 (カタログ進呈)

山とスケートの店
オスロー 観光部
 喫茶部の前
 TEL(369)6680

TEL(369)0725 (368)5517

中華料理有名店会加盟店
種類と名品料理

新装 完成
東来軒
 渋谷東宝・スカラ座よこ (46) 5381

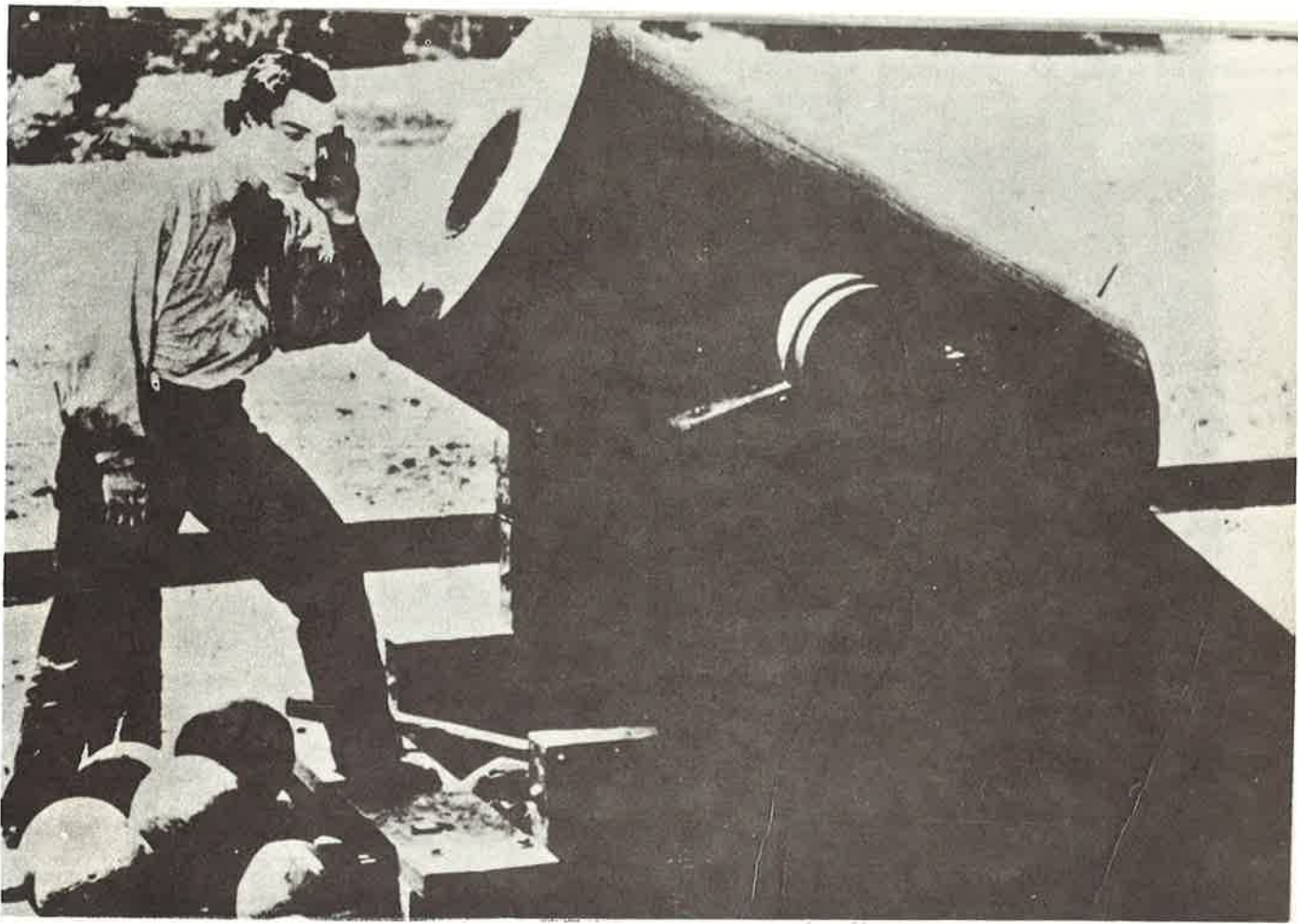
創業36年
 新企重の
 Hi-Fi立体音響
 (立体テープ実演)

暖冷房
 完備

名曲
 喫茶 **ライオン**
 シアター百軒店・テアトル渋谷4F

豊かな
 技術で
 あなたを
 お待ち
 しています

新装完成
それいゆ美容室
 渋谷区米通り1-35
 米通り消防署少し先角 TEL(46)1591



R/P

ものがたり

ジョニー・グレイには、愛するものが二つあった。ひとつは、彼が毎日操縦する機関車「將軍」であり、もうひとつは、彼がひそかに思いをよせている可憐な美女アナベル・リーその人であった。

今日も今日とて、一日の勤めを終えたジョニーは、正装してアナベルを訪問する。ところが、ちょうどそのとき、南北戦争勃発の知らせがわった。アナベルの父と兄は、さっそく南軍に志願すると勇み立つ。これを聞いて、ジョニーも黙ってはいられない。愛するアナベルに、男らしさを示すためにも……と、志願兵受付所に一番乗り。「名前は何?」「ジョニー・グレイ」「職業は?」「機関手」「志願却下!」

じつは、受付の当事者が、ジョニーを兵隊に採用するより、機関手として働いてもらったほうが南部の役に立つ、と考えての却下だった。が、そんな事情を知らぬジョニーは、これではアナベルに会わせる顔がないとションボリ。アナベルやその父たちも、彼を白い眼でみる始末……

さて、それから一年。アメリカを北と南に分けた戦いはいぜんとしてつづいていた。ある日、北軍のアンダーソン大尉の指揮する潜行スパイの一隊が、ひそかに南部にもぐりこんで来た。彼らの目的は、南部の所有する機関車を一台奪取して北部に持ち帰り、北軍の兵たん輸送用に利用しようというもの。そして、その目標にえらばれたのが、どこまでもツイていない男ジョニー・グレイの愛する「將軍」号だったのだ。

北軍スパイは、マリエッタ駅で、ジョニーが手を洗いに下車したすきを狙い、あっという間に「將軍」号を奪って、雲をカスミと逃走。そのとき荷物車に入りこんでいたアナベルは、哀れ北軍の捕虜となってしまう。しかし、アナベルのことを、ジョニーは知らない。ただ、愛車「將軍」号を奪われてなるものかと、必死に追いかける。折りよく線路わきにあったドロッコを利用して追跡すると、敵もさる者、レールのポイントを切りかえ、電信線を切断、必死の逃亡をはかる。かくてはならじと、ジョニーはけんめいの追跡。途中の駅で、南軍の輸送列車にめぐりあったジョニーは、ただちに隊長に事情を告げ、軍隊ともども列車で追跡をつづけることになるが……

またしても不運、機関車と貨車の連結はなれてしまったために、懸命に機関車「テキサス」号を運転しながら、ふとふりかえってみると、うしろについているはずの軍隊をのせた貨車がない。こうなつては、ジョニーひとり追いかけるほかに、テはない。そこでジョニーは大砲車を連結し敵を威嚇しつつ追いかける。

「將軍」号をつっぱらせしめる北軍スパイも、なんとか「テキサス」号の追跡をまこうと、貨車を切り離したり、材木を線路上におとしたりして妨害。ジョニーもまた必死に妨害を排除して追跡をつづけ、そのために、線路わきの大草原を南軍が退却し、さらに北軍がこれを追うのとすれちがってもぜんぜん気がつかない。そのうちに、「テキサス」号は、ついに燃料のたきが底をついてしまった。ジョニーは、すかさずマサカリをふるって、たぎの製造にとりかかると、そのときはじめて、敵地ふかく入りこんでいることに気づき、これは大変とばかりに、ひとまず「テキサス」号を放棄して、森のなかにかくれることにする。



さて、その夜、どしゃぶりの雨の中。ジョニーは、一軒の家を発見し、窓からこっそり入りこんだ。ところが、この家こそ、北軍の司令部だった。進退窮してテーブルの下にかくれたジョニーは、北軍の將軍たちの作戦会議の内容をすっかり聞いてしまった。ここから明朝九時に出発する兵たん列車が、パーカー將軍の指揮する北軍とロック・リバー橋で合流する、というのだ。さらに、テーブル・クロスの葉巻のヤケこげの穴から、愛するアナベルがその家に拉致されて来ているのを見つけて愕然。ジョニーは將軍たちがいなくなると、ただちにアナベルを助け出し、北軍の歩哨をノックアウト、その軍服を奪って脱出する。豪雨のなかを、愛するアナベルと逃避行。途中、稲妻におどろき、熊とすれちがひ、トラバサミにはさまれ、結局、森の中で一夜を明かすが、敵地ふかく二人入りですごした夜は、ジョニーにとって特別な感激だったにちがいない。

さて、すがすがしい翌朝を迎えたジョニーは、おりしも駅で「將軍」号を先頭につけた兵たん列車が物資を積みこんでいるのを目撃する。そこでジョニーは、北軍兵になりすまし、アナベルを南京袋に入れ、兵たん物資のごとく見せかけて貨車に積みこむ。それから「將軍」号にのりこむや否や、乗りあわせれた北軍の将校を一撃で倒すと、愛車「將軍」号を発車させる。あらかじめ、連結のくぎを抜いておいたので、「將軍」号はついているのは、アナベルを積みこんだ貨車だけ。かくて、こんどは逃げるジョニーの「將軍」号を追って、北軍スパイは「テキサス」号で追跡、さらにそのあとを追って北軍兵たん列車も行動を開始し、ここに、まえとはまったく逆の追っかけが、北から南へ向かってつづけられることとなる。

ジョニーと袋から出たアナベルは、うるわしき協力のもとに、ついに敵の追跡をのがれて、ロック・リバー橋に到着。ここで、ジョニーは橋に火をつけて敵の追跡を断ち、やっとここで南軍の駐屯地に帰つく。ジョニーの報告をうけて、南軍は、ただちに敵の集結地点ロック・リバー橋に出発する。もちろん、ジョニーも作戦に参加、彼のふりまわしたサーベルの刀身が抜けてすつとび、北軍の狙撃兵の胸をつらぬいたり、彼の発射した大砲の弾丸が川の堰をこわしたため、下流に展開していた北軍兵が濁流にのみこまれる、などという拔群の怪我の功名をあげる。

ジョニーの功名は、それだけではない。大勝利を博した軍隊とともに駐屯地に戻ってから、愛車「將軍」号の操縦席でのびていた北軍将校を捕えて連行するとこれが北軍の將軍のひとりだったため、ジョニーはまたしても面目をほどこす。かくて、めざましい働きを示したジョニーは、南軍司令官から、一躍、少尉に任ぜられ、そのうえ、意中の人アナベルと晴れて相抱きあうことができたのであった。



What a BUSTER!

「將軍」のキートンについて

杉山 静夫



佳篇「タイムライト」52でチャップリンと組んでうら悲しいパントマイムを演じた彼「サンセット大通り」50や「喜劇の黄金時代」61にちょっぴり姿を現わして笑わせたり、そしてパラマウントの「バスター・キートン物語」57でその半生の一端をさらけ出した彼——といった所が戦後のファン諸君の知り得た彼のすべてであるが、われわれオールド・タイムアにあっては、なかなかどうして、このキートンという俳優こそは抑めどもつきぬ思い出とともに終生脳裡に生き続ける大コメディアンであり大スターなのである。20年代を通じて三大喜劇王の一人と奉られた彼の作品は、日本にもたらされた分だけでもガツと数えて四十本。ほとんど全部がサイレント(うち三分の二は短篇)であるがトーキー到来と同時にがっかり落ち目になった彼としては、これは当然すぎる成り行きであって、お義理にも感心できかねる悪声とエロキューションが命とりになっての失脚と伝えられた。

それ以来、長い不遇の時代が続いてキートンすでに今年66歳(96年生れ)。その彼にとってどうやら一陽来復の62年がやって来た。その訳は二つある。

ひとつは今日ここでご覧になる「キートン將軍」が、西ドイツ資本のバックを受けてサウンド版として再編集され、まず首都ボンで記録的な大ヒットをし、そのまま国内十都市を席巻した余勢をかって隣国フランスへ、「侵攻」して又々大当り、当然予想される収益は莫大なものになる見通しがついたからである。(彼自身の談話によると、ウンがまことか、西独での「最短」興行は四週間だったという)もうひとつは「大」スタンリー・クレマーの異色作「狂った狂った世界」に契約を買い久々に出演できるという喜びだ。

彼は現在、自らが主演した十八本の二巻ものと十本の長篇の権利とプリントを所有し、今後は毎年二本の割合で再発売する計画を立てたとニヤついているのだが、この「將軍」は26年の彼有数の快作で、疾走する軍隊や焼

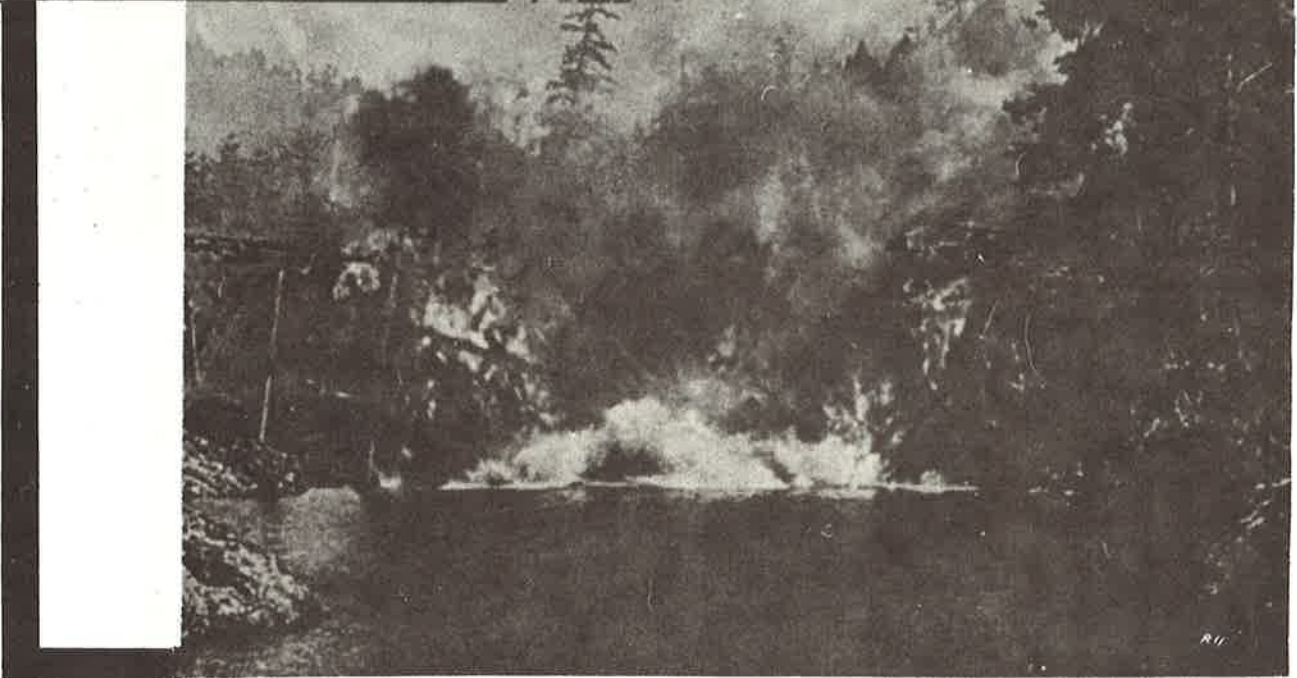
け落ちる鉄道橋梁などが象徴するスケールの大きさと当時の度ギモをぬいたもの、相変らずの奇想天外のギャグと速力的なアクションとともに62年の今日見ても胸のすく思いがするのである。

彼が「浮かぬ顔」Sad Face「石面」Stone Faceとよばれるのはスクリーン上の彼がついぞ笑ったことのない独自のポーカーフェイス的特徴から発生したのだが、まことに歴史は遠く、10年代の中期にロスコー「デブ」アーバックルの短篇喜劇にアル・セント・ジョンという無暗とイカつい山男と相棒になって活躍した昔からこの特徴には変化がなかった。いわばそれが看板の、トレード・マークのキートンであり、そういう彼の「巖窟王」「船長」「馬鹿息子」「忍術」「カメラマン」「荒武者」「西部成金」など、などを思い出すと不覚にもOBは胸痛む思いをどうしようもなくするのである。

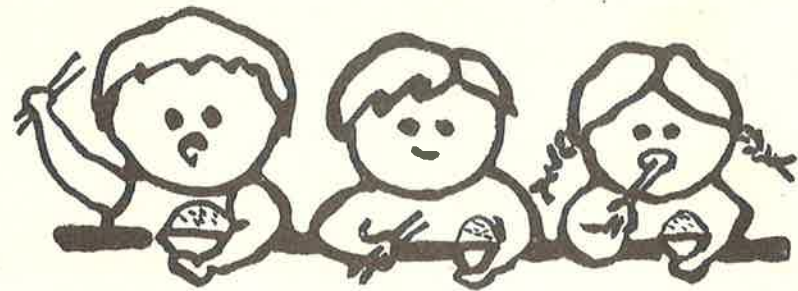
だが、映写幕上の彼だけでなく、私人としての彼もやはり余り陽気ではなかったそうである。ひとえに不幸を絵にかいたようなその生い立ちが原因で、そもそも彼には故郷がない。生地のカンサス州ピックウエイという町はある日、突然の旋風で一瞬にしてふっ飛び二度と復興しなかったのである。しがたない旅芸人の両親は生後六週間の赤ん坊の彼を舞台に「利用」し、四歳の時には同じ舞台で「マリのように」放り投げた(これが後にニューヨークで幼児虐待の社会問題にまで発展したのだ)。

彼にはもともとジョゼフ・フランシスという堂々たる(?)名前があった。所があるとき二階からモロに階下に転落しながらカスリ傷ひとつ負わない現場を、例のハリ・フリーディニ(のちに世界の「魔術王」とよばれた)がたまたま目撃し、「What a buster!」(スゴい坊やだ!)と叫んだのを縁にバスターと改名した、といわれるほど芸人的に身軽な(正しくは、そう仕立てられた)可哀そうな幼少の彼であった。続いては辛酸無類の芸人渡世、そして17年映画入りして喜劇王に成長して、なおかつ陽性を置き忘れたといつて誰が咎め立てできようか。

いま、サン・フェルナンド・ヴァリーの自宅には夫人と二匹の猫と一羽のオウムと聖バーナード種のでっかい犬とが平和にくらしている。



ごはんを上手に食べましょう！



働く力………は何から生れますか？
考える力………

それは食物からです。
一番沢山食べる、おいしいごはんを最も理想的に食べることが「働く力」「考える力」をより豊富に生み出すことです。
白米には**強化米**を混ぜて食べましょう。
ごはんを上手に食べる最も良い方法です。

強化米

ポリライス ビタライス

★お米屋さんで販売しています。

社団法人 栄養食糧協会
東京都千代田区丸の内2丁目8番地 三菱仲12号館6号410室



かつて彼の父親の親友であり、同じ巡業仲間でもあったハリ・フリーディニ(後に世界一の「魔術王」になったが、階段からモロに転落しながらカスリ傷ひとつ負わなかった当時三年八カ月だった彼を見て、思わず「What a buster!」と叫んだのを縁にバスター・キートンと改名したと伝記は伝えているが、ご承知の通り buster という俗語は「並みはずれたもの」「すばらしいもの」「出来アツ」の意味があり、呼びかけ用語としては「坊や」の意味がある。もってその「芸人的身軽さのほど察すべきだろう」

キートンは戦後には「サンセット大通り」で一シーン「タイムライト」数分間しか出ていない。それまでの長い長い空白はそのまま彼の不遇と沈滞の期間であり、トーカーとともに失脚した「スター」の悲愴な宿命の具象であった。日本に輸入された彼のサイレント映画は大ザッパな計算で四十五本前後あり、約三分の二は短篇で、その中で最高傑作は「船長」一方の長篇では「荒武者」を第一とし「將軍」がこれに肉迫する。ともに天馬空を行くの概があるギャグと笑わぬ効果が最高に発揮されていたからだ。彼は「將軍」の今度の成功に力を得て、今後は年に二本くらいの割合で再発表を考えている旨をAP記者の前に明らかにした後「しかし、肝腎の権利とネガは短篇が十八本、長篇が十本しかないよ」と甚だ自嘲的な言葉を追加したという。残りの権利はすべてどこかの誰かの手に渡っているわけで、如何に深刻かつ長期におよぶ落ち目時代だったかを物語るものだ。当年67歳の彼に、これをチャンスとしての陽光さんらんなるこれらを祈らずにいられない所以である。

笑はぬ七七劇王

キートン

THE GENERAL

洋酒と珈琲 **ゆき**
地階 **スタンドバー 69**
コフ劇場前・地球会館うら
TEL (368) 5123
姉妹店
総合スタンドバー **洋酒会館**
やま並び西武駅前

映画・テレビ 放送出演 **研究生募集!**
4才~30才まで男女
履歴写30円同封送
劇団 **ひまわり**
波谷区新橋町52
TEL (441) 0276

文芸春秋で紹介された店
印度カリ 市内店 **サイ**
女性にも喜ばれ 大好評!
新宿歌舞伎町 地球会館裏通り
TEL (368) 5317